

『第11回ハートフル・イン・やしおみ』開催!!

やしおみ荘

例年、ふれあい体験を通じて共に学び合うといった目的のもと開催されてきた「ハートフル・イン・やしおみ」が今年も7月26日（木）に行なわれました。早朝に降った雨も上がり、心地よい天候に恵まれひと安心。元気な小学生たちが続々と来荘してくれました。

対面式では今年の子どもたちは恥ずかしがり屋さん？と思われる素振りもありましたが、時間と共にパワー全快。利用者との班旗作りでは、子どもたちそれぞれが個性を發揮してくれました。一緒に何か

さあ、いよいよ「ハートフル・イン・やしおみ」スタート！みんな少し緊張気味…。



を作り・完成させるにあたって意外と大変なのは取り掛かり。テーマを決めるもまとまりのないものになってしまったりと、苦笑いしながらも、グループ全員のサインを添え、班旗を掲げて記念撮影。午後にはインスタントシニアや視覚障害の疑似体験・車椅子歩行など、グループごとに分かれて体験コーナーをまわりました。ここでは、いつもできている動作がスムーズにいかないというのは一体どのようなことであるか、また、補助具も使い方を間違えると危険を伴うことなど、体験を持って感じとっていただけたかと思います。今回、障がいをもつ方の福祉講話として、折り紙講師の鈴木千絵先生をお招きし、折り紙教室と命の大切さを訴える講演をしていただきました。難病・いじめ・恩師との出会いなど、実体験を基に家族の心の変化と自分の心境の変化を伝え、這い上がる強さをみんなに分ける力強い講演でした。

今回参加してくださった小学生の皆さん、楽しい1日をありがとうございました。そして保護者の方々、講師の鈴木先生に心より感謝申し上げます。今回の体験が、こどもたちの“気付き”につながることを願っております。ありがとうございました。

フレンドリーシップinふじみ

ふじみ更生園

7月30日（月）「フレンドリーシップinふじみ」がグラウンド及び交流ホームで行われました。初夏の晴天の中、大倉保育園の園児たちによるお遊戯披露、福祉レクリエーションが行われ、利用者と園児たちが交流を図りました。



た。園児のお遊戯披露では一緒になって踊ったり、手を叩いてリズムをとる利用者の姿も見られ、園児たちの可愛らしいお遊戯をそれぞれ楽しんでいました。その後、閉会式では園児から絵のプレゼントがありました。フレンドリーシップinふじみが終わってからその絵を眺め、楽しかった一日を思い出しているようです。

福祉体験学習

ふじみ更生園

9月21日（金）、上遠野中・湯本二中生が来園し、福祉体験学習が行われました。洗面、歯磨きを始め、創作活動、タオル作業、水耕作業などの活動に参加し、初めは緊張の表情で参加していた中学生も、利用者との交流を図りながら接することで、次第に笑顔を見せていました。中には、「利用者と一緒に作業体験などを行ったことで、よりいっそう福祉の職業に就きたいと思った」と、感想を話してくれた生徒さんもいました。将来、頼もしい力となって、再び

来園してくれる日も近いのではないのでしょうか。

一日の福祉体験を終え、寂しそうに中学生を見送る利用者、「また来るね」と、充実感あふれる笑顔で手を振る中学生の姿が印象的でした。

